

様式1

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
保健	1	1	必修	普通科・国際人文科・体育科

1. 科目概要および目標

(1) 目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を育てる。

(2) 内容

①現代社会と健康

我が国の疾病構造や社会の変化に対応して、健康を保持増進するためには、ヘルスプロモーションの考え方を生かし、人々が適切な生活行動を選択し実践すること及び環境を改善していく努力が重要であることを理解できるようにする。

2. 成績評価

評価については、以下の3観点から総合的に見ていく。

(1) 関心・意欲・態度

(2) 思考・判断

(3) 知識・理解

定期テスト	50%	その他テスト等	25%	授業・提出物	25%
-------	-----	---------	-----	--------	-----

3. 使用教科書・ノート

(1) 教科書：現代保健（大修館書店）

(2) ノート：現代ノート（大修館書店）

4. 授業の展開と形態

一斉・グループ授業

5. 学習方法

一斉講義・グループ学習・課題学習

（ブレインストーミング・ロールプレイング・実習）

保健 年間授業計画

月	大項目	単 元	配時	マーク欄	
		オリエンテーション	1	/	
4月	現代社会と健康	ア 健康の考え方	4	/	
		①国民の健康水準と疾病構造の変化 ②健康の考え方と成り立ち ③健康に関わる意志決定と行動選択 ④様々な保健活動や対策		/	
5月				/	
		イ 健康の保持増進と疾病の予防	9	/	
6月		①生活習慣病と日常の生活行動 ②喫煙、飲酒と健康 ③医薬品の正しい使用、薬物乱用と健康		/	
				/	
7月				/	
		◎定期考査(期末)			
9月		イ 健康の保持増進と疾病の予防	④感染症とその予防	2	/
10月		ウ 精神の健康	①欲求と適応機制 ②心身の相関 ③ストレスへの対応 ④自己実現	4	/
11月		エ 交通安全	①交通事故の現状 ②交通社会に必要な脂質と責任 ③安全な交通社会づくり	4	/
12月		オ 応急処置	①応急手当の意義 ②日常的な応急手当 ③心肺蘇生法	3	/
		◎定期考査(期末)			
1月		*課題学習 壁新聞づくり レポート作成	①課題の設定 ②学習計画作成 ③課題追求	5	/
2月					/
3月	*課題学習 発表・報告	①成果の発表・報告	3	/	